こんにちは！「ひろこく」です

国土交通省
中国地方整備局　広島国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and tourism Chugoku Regional Development Bureau, Hiroshima National Highway Office

広島国道事務所からの
お　知　ら　せ

平成３１年　１月　９日

同時資料提供先 ： 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

一般国道１８５号　休山（やすみやま）改良について

平成３１年３月１０日（日）に４車線化が完成します！

◆ 一般国道１８５号　休山改良について

現在工事中の一般国道１８５号休山改良（呉市本通６丁目～呉市阿賀中央６丁目　延長２．６km）について、平成３１年３月１０日に４車線化が完成しますので、お知らせします。

なお、完成式及び通行が可能となる時間については、詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

【今回の完成により期待される効果】

休山トンネル周辺で発生している**交通渋滞が緩和**されることで、以下の効果が期待されます。

① 所要時間の短縮
交通渋滞が緩和され、**所要時間の短縮**が図れます。

② 死傷事故件数の減少
渋滞に起因した**追突事故等が減少**します。

③ 空港アクセス向上
呉駅から**広島空港へのアクセスが向上**します。

④ 救急活動支援
呉医療センターまでの円滑な救急搬送がなされ、**患者への負担が軽減**されます。

（問い合わせ先）
国土交通省中国地方整備局　広島国道事務所
副所長（改築）　髙口　敏弘（たかぐち　としひろ）
【担当】工務課長　佐々田　敬久（ささだ　ゆきひさ）
TEL 082-281-4176　FAX 082-286-7900

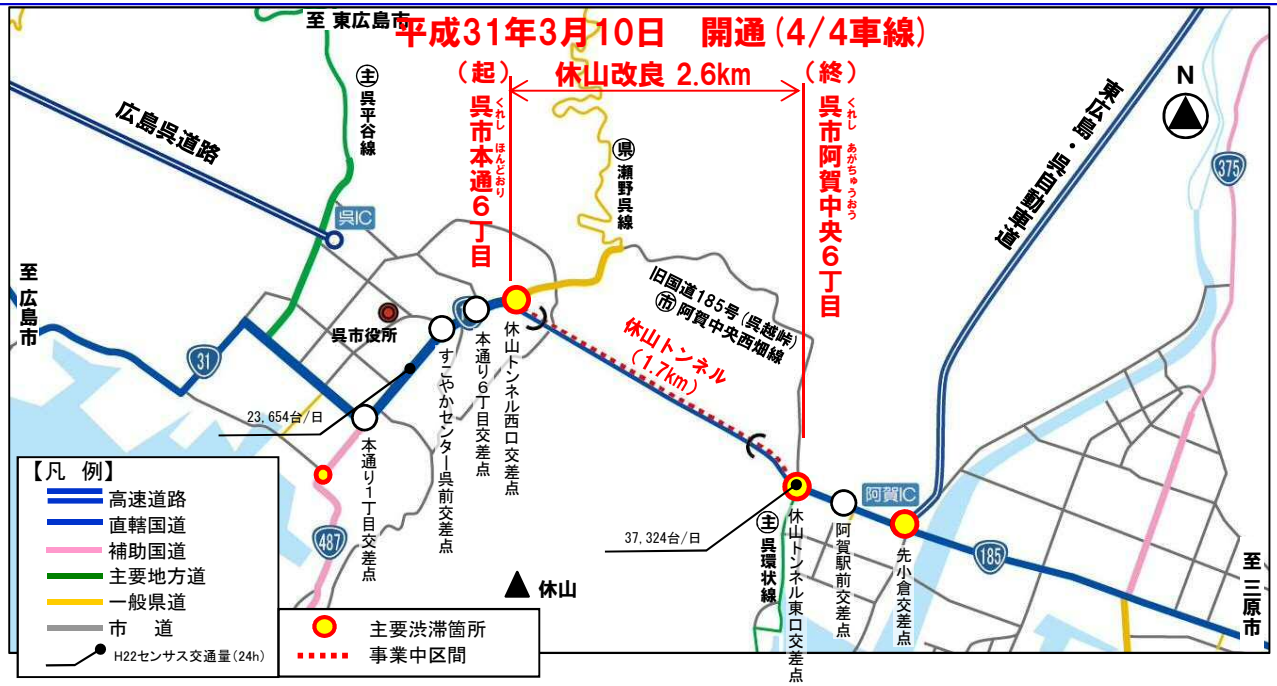
【広報担当窓口】計画課長　亀岡　敬和（かめおか　のりかず）
TEL　082-281-4131（代表）　FAX 082-286-7897
ホームページ　http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/

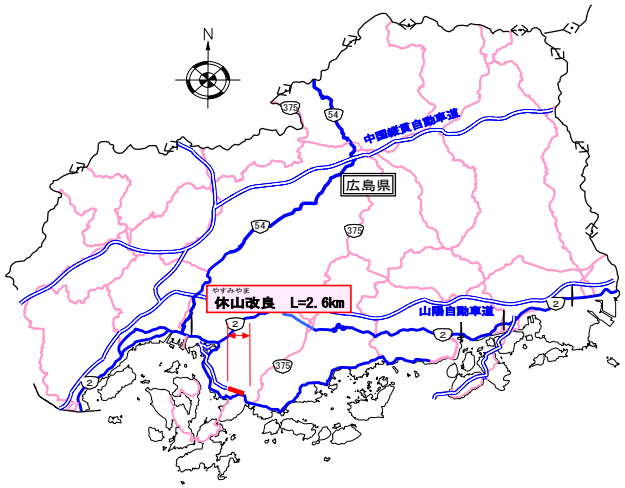
事業の概要

一般国道１８５号　休山（やすみやま）改良

・一般国道１８５号休山（やすみやま）改良は、呉市本通（くれしほんどおり）６丁目と呉市阿賀中央（くれあがちゅうおう）６丁目とを結び、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的として整備を進めている延長２．６ｋｍの道路です。

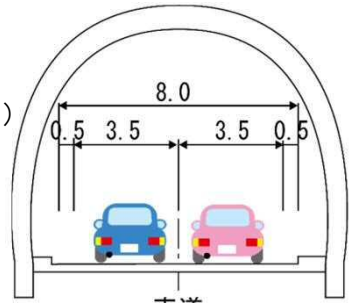
・平成14年3月から暫定2車線（対面通行）で開通していましたが、**今回、平成31年3月10日に４車線で開通します。**





標準断面図

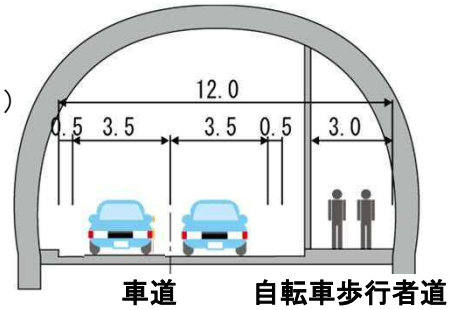
下り線
（単位：m）



車道

今回開通区間

上り線
（単位：m）



車道　　自転車歩行者道

H14年3月開通済
（現在は対面2車線通行）

計画概要

起　終　点	起点：呉市本通6丁目 終点：呉市阿賀中央6丁目
計　画　延　長	2.6km
道　路　規　格	第4種第1級
設　計　速　度	60km/h
車　線　数	4車線

整備効果①　所要時間の短縮

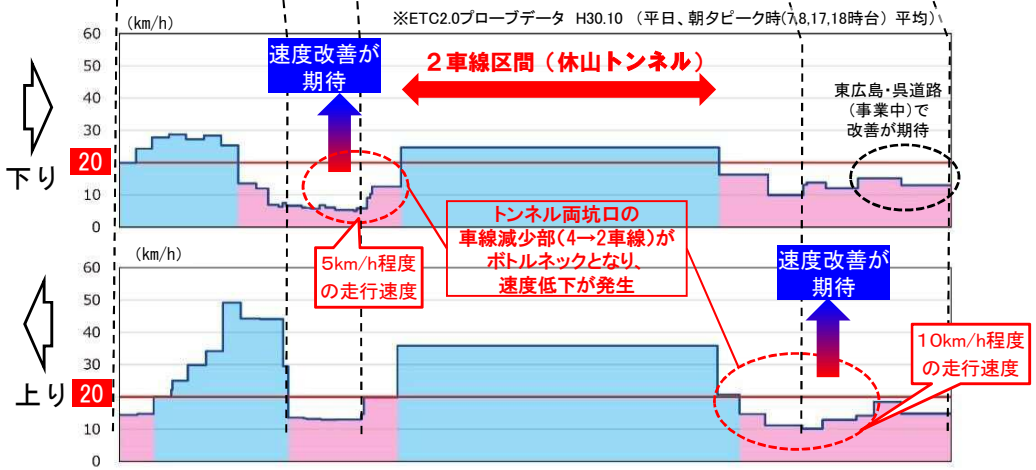
一般国道185号 休山改良

休山トンネル周辺で発生している交通渋滞の緩和により所要時間が短縮

- 一般国道185号休山トンネル周辺では、トンネル両坑口付近の車線減少部を先頭とした渋滞が発生しています。
- 平成30年7月豪雨災害時においては、平常時よりも更に渋滞が悪化しました。
- 休山改良4車線化により渋滞が緩和され、スムーズな交通の確保が期待され、所要時間の短縮が図れます。

休山トンネル周辺状況

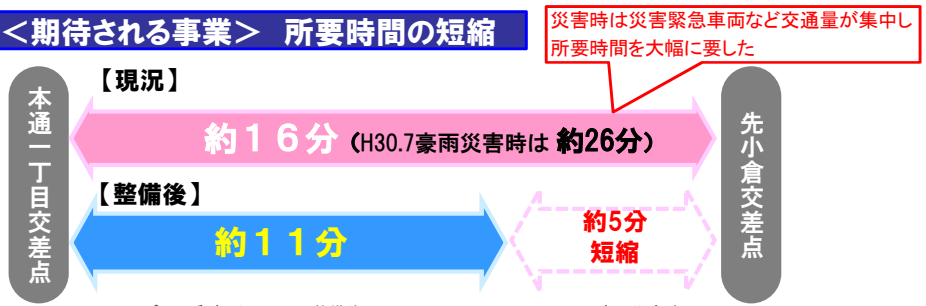
トンネル前後区間の速度低下状況



写真①　渋滞状況：休山トンネル西口交差点付近（東方面を望む）

写真②　渋滞状況：休山トンネル東口交差点付近（北西方面を望む）

＜期待される事業＞　所要時間の短縮



※ETC2.0プローブデータ（現況、整備後：H30.10（平日）上下平均　H30.7豪雨災害時：H30.7.23（月）下り）
※現況／ 朝タピーク時（7,8,17,18時台）平均旅行速度
※整備後／ 休山区間（2.6km）50km/h、 休山改良により改善が期待される区間 非混雑時（9時～16時台）の平均旅行速度、
その他の区間　朝タピーク時（7,8,17,18時台）平均旅行速度
※H30.7豪雨災害時／　朝タピーク時（7,8,17,18時台）平均旅行速度

整備効果②　死傷事故件数の減少

一般国道185号 休山改良

渋滞に起因した追突事故等が減少

- 休山改良（暫定２車線）周辺で発生する事故は、渋滞に起因した追突事故が約8割を占めています。
- 事故による休山トンネル通行止めの際は、迂回路である旧国道185号（呉越峠）に交通が集中し、日常生活に支障をきたしています。
- 休山改良4車線化により渋滞に起因した追突事故等が減少することで、安心・安全な通行が可能になります。

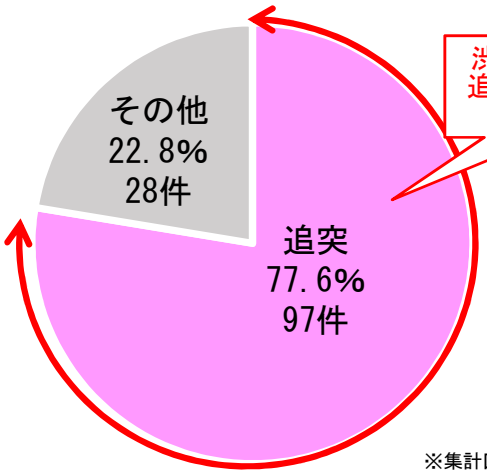
事故発生状況

＜事故状況（H29年10月13日）＞

（H29年10月　事故概要）
休山トンネル内事故発生
（時系列）
12:19　上下線通行止め
14:41　通行止め解除
（規制：約2時間22分）

＜交通事故発生時の旧国道185号の渋滞状況＞

＜平成25～28年　4年間の死傷事故件数＞



渋滞に起因した追突事故が多い（約8割）

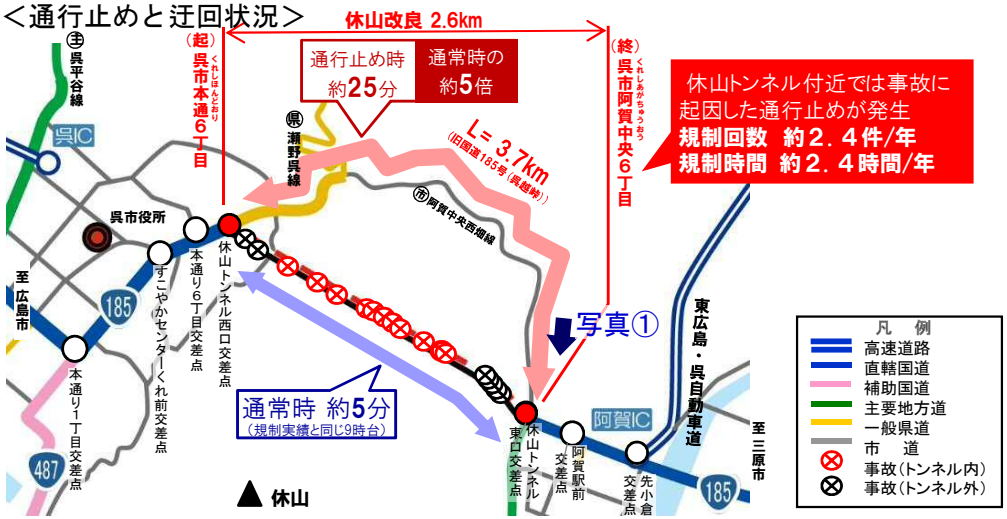
【期待される効果】
渋滞緩和による交通事故の減少

※集計区間
休山トンネル西口交差点
～休山トンネル東口交差点

（資料/交通事故統合データベース（H25~H28））

事故発生時の通行止めと迂回状況

＜通行止めと迂回状況＞



＜休山トンネル内で発生した通行止め＞

年度	規制内容	規制時間
H25	全面通行止め	40分
	全面通行止め	43分
	全面通行止め	45分
H26	片側交互通行	25分
	片側交互通行	51分
H27	片側通行止め	1時間50分
	片側通行止め	16分
	全面通行止め	38分
H28	片側通行止め	30分
	全面通行止め	1時間23分
H29	全面通行止め	2時間22分
	全面通行止め	1時間26分
合計		11時間49分

注）旧国道185号（呉越峠）：
県道瀬野呉線、市道阿賀中央西畑線

※通常時/
H29.4～H29.9平日（9時台）　プローブデータ
※通行止め時/
H29.11事故通行止め時（9時台）　プローブデータ

5年間で12回
事故に起因した通行止めが発生している

（資料/広島国道事務所）

整備効果③　空港アクセス向上

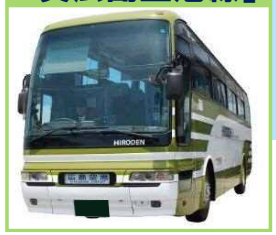
一般国道185号 休山改良

呉駅から広島空港へのアクセスが向上

・エアポートバス「呉広島空港線」は、近年利用者が増加傾向となっています。
・休山改良4車線化により一般道区間の渋滞が緩和することで、定時性が確保され、呉駅から広島空港へのアクセス向上が期待されます。

呉広島空港線エアポート運行経路

「呉広島空港線」

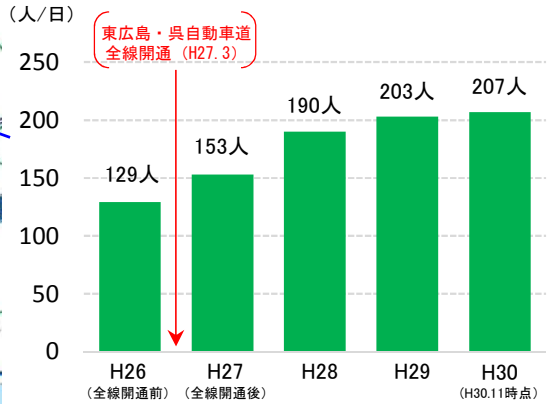


バス会社の声

バスの運行サービスは、道路交通インフラによるところが大きいです。
一般道区間の渋滞によって到着に遅れが生じる場合があり、休山改良で**渋滞が緩和されれば、「飛行機に乗り遅れるかもしれない」といったお客様の不安が解消**されるため、より安心してご利用いただけます。

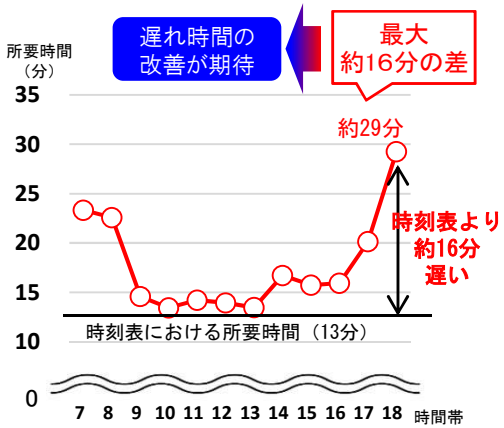
（H30.11　広島電鉄株式会社　ヒアリング結果）

エアポートバス「呉広島空港線」1日あたりの平均利用客数の推移



（資料/広島電鉄株式会社）

空港行き 呉駅から阿賀駅間の所要時間の信頼性



※H30.10 平日　ETC2.0プローブデータ
※各時間帯毎で上下5%を特異値として除外した後の最大値

写真①　バスが渋滞に巻き込まれている状況（休山トンネル西口交差点付近）

整備効果④　救急活動支援

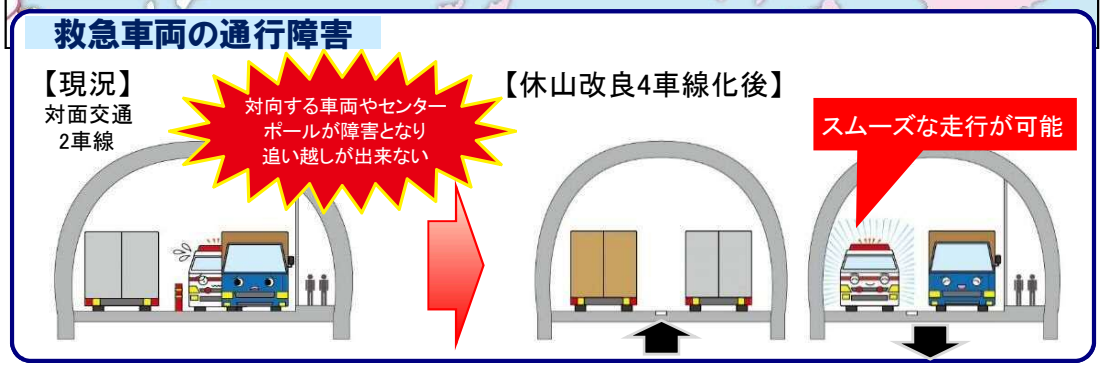
一般国道185号 休山改良

円滑な救急搬送による患者負担の軽減

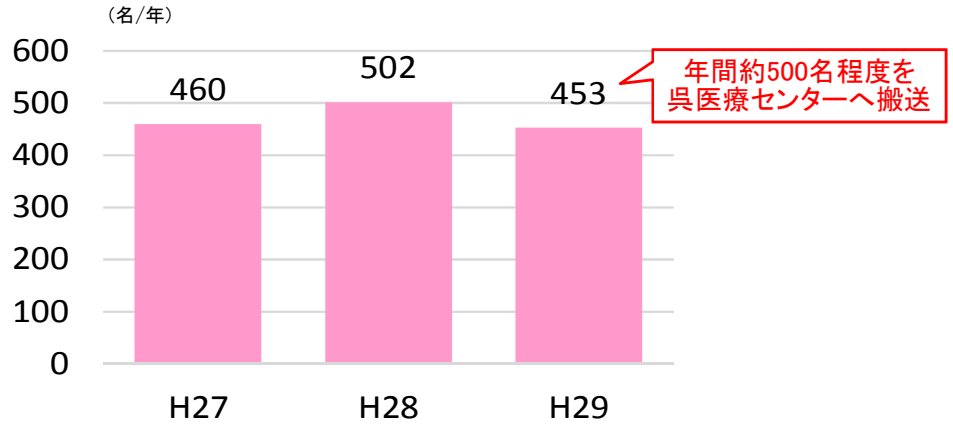
- 呉市消防局東消防署管内から第三次医療施設である呉医療センターには、休山トンネルを利用して年間約500名程度が搬送されています。トンネル周辺の渋滞による搬送の妨げや、トンネル内のセンターライン上にあるポールが追い越し時に支障となることで、現場到着に時間を要しています。
- 休山改良4車線化により渋滞が緩和することで、円滑な救急搬送がなされ、患者への負担軽減が期待されます。

呉市消防局　東消防署管内の救急搬送

救急車両の通行障害



東消防署管内から呉医療センターへの搬送人数



資料：H30.11 呉市消防局ヒアリング結果

消防署の声

- 救急活動において最も重要なことは搬送時間の短縮です。
- トンネル内での追い越しの際は、センターラインのポールが支障になっています。また、トンネル周辺の渋滞は円滑な救急搬送の妨げになっています。
- 休山改良4車線化によりトンネル周辺の混雑が解消され、搬送時間の短縮が期待されるとともに、追い越しがしやすくなるため、スムーズな走行が可能になります。

（H30.11呉市消防局ヒアリング結果）